

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



夏に首都オークランドで行われるサンタパレード

世界の国々や文化を紹介する「ワールズ・ウィンドウ」！ 案内役は、国際交流員リサアン・カワチさんとエイミー・タッペンデンさんです。

Vol.93 真夏のクリスマス (ニュージーランド)

Hello! みなさん、こんにちはエイミーです。わたしの国ニュージーランドは南半球の南太平洋、オセアニアのポリネシアに位置する島国です。日本は冬に入りましたが、ニュージーランドは季節が逆で、今夏が始まったばかりです。今回はニュージーランド(わたしのファミリー)のクリスマス 皆さんにご紹介したいと思います。

幼少のころ日本で育ったわたしは、12月から3月は当然冬だと思っていました。そのため、2000年の12月にニュージーランドへ帰国した時は季節が夏でびっくりしました。12月はもちろんクリスマスの時期です。ニュージーランドではクリスマスは夏です。日本でのクリスマスとニュージーランドのクリスマスの大きな違いは外の明るさだと思います。日本だと午後5時前には暗くなり、都会ではイルミネーションなどを楽しめますが、ニュージーランドは夏のため、サマータイムに入っていて午後9時半ころからやっと暗くなっていきます。そのため、イルミネーションは飾られないので楽しむことができません。一日の日照時間が長いのでバーベキューをするにはぴったりですが、冬のクリスマスを経験したことがあるわたしは、どうもクリスマスの気分にはなれません。

クリスマスツリーは本物のモミの木を近所のクリスマスツリーファーム(モミの木を植えている農園)で購入し、自分で木を選び切り倒して持ち帰ります。クリスマスツリーの大きさは家の高さで決めますが、大体150cmから200cmのものを選びます。クリスマスツリーは1本約20NZ\$ (約1,400円)です。購入したツリーには家族でいろいろなクリスマスの飾りつけをします。ニュージーランドで購入するクリスマスツリーは香りがあり、部屋中がそのクリスマスツリーの香りいっぱいになります。クリスマスツリーは普通12月13日から1月6日まで飾られます。わたしにとってどのクリスマスツリーを選ぶのが毎年の楽しみでした。

わたしの家族の場合、12月25日(クリスマスデイ)は母方の親戚と昼食をとります。毎年交代でターキー、にんじん、

じゃがいもがメインの料理を作ります。始めにシャンパンを飲み、パン、チーズ、パテを食べ、この一年間のことを語り合いながら、ゆっくりとみんなで昼食の準備をします。昼食時はニュージーランドの白ワインを飲みながら、普通は2時間ぐらい続き、メインコースの後はもちろんデザートを食べます。紅茶と一緒に母が作ったドライフルーツ入りのクリスマスケーキとクリスマスクッキーを食べ、午後の4時半ごろにはクリスマスのお祝いを終了します。

その年によって変わりますが、天候が良ければ外のパティオ(中庭)にバーベキューセットを置き、大量のステーキ、ソーセージ、豚肉を焼いて食べるのもわたしの家族のクリスマスの習慣です。しかし、この習慣は父方の親戚と12月26日に集まって行きます。ニュージーランドの夏は最高気温が25-28度ぐらいで過ごしやすく、そのうえ湿度は普段50%を超えないので本当に快適です。ニュージーランドは紫外線が強いため家族みんなが日焼けをしないようにパティオの真上にシェードセイル(日よけ)を飾ります。父方の親戚とのクリスマスのお祝いは母方よりリラックスしていて、



写真・上/中庭で行うクリスマスバーベキュー
中/愛犬とパーティーを楽しむ私たち
下/わたしの家特製のクリスマスケーキ

シャンパンと白ワインよりもビールを飲むことが多く、親戚も30人くらい集まるのでかなりにぎやかで盛り上がります。

夏のクリスマスはちょっと違和感がありますが、慣れてくると外でのアクティビティーも楽しめるので、なかなかいいですよ!夏のクリスマスを経験したことがない方はぜひ南半球へ旅行に行き、楽しんでみてください。



今年12月2日に行われたクライストチャーチでのサンタパレード